

# 乳がん検診

▶ にゅうがんけんしん ◀

no. **06**

## 今回訪れたクリニック

医療法人 英仁会  
大阪プレストクリニック

乳がん検診をはじめ、自治体や企業の検診など豊富な検査実績を誇るクリニック。乳がん検診は技師、医師らすべて女性が担当。また、検診だけでなく、手術、放射線治療や抗がん剤治療、リハビリテーションなどにも対応できる体制を整えている。

大阪市福島区大開1-13-8  
☎06-6465-4108



芝 英一 理事長  
LINK P142

## 読者レポーター



Kさん  
(20代/会社員)

乳がん検診に興味あり  
どんな検査なのか知りたい  
乳がん検診の存在は知っていましたが、受けたことがなく、漠然とした不安があります。でも、乳がんは若い世代でも罹患する可能性があるという、乳がん検診を受けたほうがいいのかなと少し興味を湧いてきました。どういった検査が行われるのか、この機会に詳しく教えていただきたいです。

## START

実際の流れを紹介

STEP 1



### 問診票に記入

予約時間に訪問し、事前に記入した問診票を提出するか、受付で問診票を受け取り記入する。問診票には家族のがん罹患歴、妊娠や出産経験の有無、前回の検診時期などを書き入れる。

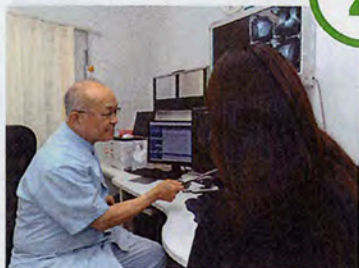
STEP 3



### 超音波検査

乳房に専用のジェルを塗られ、専用の器具で乳房内部から跳ね返ってくる超音波を画像にして乳房の状態を調べる。

STEP 4



### 検査結果を確認

受けた検査の結果は、基本的には郵送で受け取る。所見が見つかった場合など、必要に応じて精密検査や診察を受けるために受診するケースもある。

STEP 2



### マンモグラフィ検査

専用装置で乳房を挟み検査する。基本的に40代は2方向、50歳以上は1方向から撮影。3Dマンモグラフィ検査の場合、診断しづらい乳腺の重なった部分も観察できるという。

## レポートを終えて

受付から更衣室、マンモグラフィ検査や超音波検査へとスムーズに案内してもらえて、思った以上に短時間で検査が終了するとうわかりました。自分はまだまだ大丈夫と思わず、今後は定期的に乳がん検診を受けたいですし、友人にも勧めたいと思います。

## ドクターからのアドバイス

乳がんは早期発見でほぼ100%の方が治癒に向かうとされる病気です。定期的な検診が大切です。30歳から超音波検査、40歳以上はマンモグラフィ検査または両方の受検を推奨しています。がん検診受検者の5~7%が「要精密検査」となりますが、実際に乳がんである人は20人に1人。怖がらず、気軽に受けてくださいね。

乳房を板で挟み撮影するマンモグラフィ検査と、ジェルを塗り超音波を発する器具で調べる超音波(エコー)検査があります。マンモグラフィ検査は乳腺内にできるカルシウムの沈着物や、脂肪の多い乳房でのしこり発見に、超音波検査はしこりを作る病変や、乳腺が多い乳房のしこり発見に有効。検査はお選びいただけますが、一方の検査でしか見つからない乳がんもあるので、乳腺の密度が高い40代の方には両方の検査をお勧めします。

Q どのような検査が受けられるのでしょうか。

すべての女性に受けていただきたいです。特に40歳以上の方、家族に乳がんや卵巣がんなどの罹患歴がある場合は30歳以上の方に、定期的な乳がん検診の受検を推奨します。遺伝性乳がん・卵巣がんの遺伝子を持つ方は乳がん患者全体の5~10%で、70代までに約8割が発症するとされていますので、個別のカウンセリングをお勧めします。乳がん検診は自覚症状のない方が対象で、症状があれば通常の診察となります。

Q 乳がん検診はどのような人が受けるべきですか？

検査&治療にまつわる Q&A



1 2017年9月の移転に伴い設備も人材もより充実 2 リラックスして検査を受けられるよう緑の装飾を施したマンモグラフィ 3 手術室。乳房再建も行っている



多くの乳がん患者を診る中、早期発見・治療の大切さを痛感したという芝理理事長。定期検診を受けるよう啓発にも力を入れている。「乳がんは定期的な検診さえ受ければ初期で発見できます。そして早期に適切な治療・手術を受けられれば、命に関わる事態は避けられるのです」

乳がん検診には、超音波診断装置やマンモグラフィといった機器の性能はもちろん、技師の撮影技術や医師の読影スキルも求められる。そのため触診ではわからない小さな乳がんを発見できるよう、同院の医師やスタッフは熱心に研鑽を重ねてきた。そうした努力が実って同院の評判がクチコミで広がり、乳がん検診を受ける人は増

もっと知りたい!!

ドクターの得意な治療・検査

乳がんは早期に発見すれば、ほとんどの人が治癒に向かうといわれる。そこで同院では乳がん検診を気軽に受けられるよう、検査に携わる医師や技師にはすべて女性を配置。検査は専用の圧迫板で乳房を挟んでエックス線撮影を行うマンモグラフィ検査と、超音波検査の2種類を実施している。「どちらかの検査でしか発見が難しい乳がんもあるため、40代以上の方は両方の検査を受けることをお勧めします」と芝理理事長。画像の読影は複数の医師が行い、ミス防止に努めるといふ工夫も。万が一検査によって乳がんが見つかった場合、手術、化学療法・放射線療法、術後のリハビリなどトータルにフォローできるのも同院の特徴だ。



検査、治療、病理診断、放射線治療、リハビリテーションが一貫して行える

2 クリニックでは少ないという病理診断科もある



Tel 06-6465-4108  
Add 大阪市福島区大開1-13-8  
Parking 無  
Close 日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~16:00	●	●	●	●	●	-	-	-
9:00~15:00	-	-	-	-	-	●	-	-

※セカンドオピニオンの外来は月~金曜/17:00~(要予約)  
※乳がん・子宮がん検診/火・水・木曜9:00~16:00、土曜9:00~15:00 ※婦人科/月・金曜9:00~16:00



医療法人 英仁会  
大阪プレストクリニック

乳腺外科/婦人科/乳腺形成外科/病理診断科/放射線治療科

乳がん検診

芝英一 理事長  
Eiichi Shiba

1977年大阪大学医学部卒業。同大学医学部附属病院や大阪府立成人病センターなどに勤務。その間、ハーバード大学に留学し、先進の乳がん医療にふれた。大阪厚生年金病院乳腺・内分泌外科部長を務めた後、2005年開業。日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会乳癌専門医。日本乳癌検診学会評議員。



検診から手術、リハビリまで一貫して乳がん患者をサポート

JR東西線海老江駅、阪神本線野田駅からすぐの「大阪プレストクリニック」は、乳腺外科を中心に婦人科、乳腺形成外科など婦人科疾患を専門に診るクリニックだ。「大規模病院並みの医療クオリティとクリニックならではのこまやかな対応の両立をめざしています」と話すのは芝英一理事長。その言葉どおり、高い専門性を持つ医師、乳腺診療に精通した看護師や薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師などのスタッフが在籍。チームワークを生かして、検査から診断、手術、術後の治療まで一貫して患者を支えている。

5、6年前から患者数が大幅に増加したことを受け、平成29年9月により広い現在の場所に移転した。その際、別々の場所にあった外来・治療・検診の3部門を、より密に連携できるよう統合。医師やスタッフを増員して、病理診断科、放射線治療科も設けた。併せて、新鋭の放射線治療システムや3Dマンモグラフィなど先進の設備も導入するなど、精度の高い医療の実現に向けた環境づくりに尽力。現在は、乳がんの手術後などのリハビリテーションも積極的にを行っている。

「しこりだけを切除した場合を除



みんなの  
本音を知りたい  
来院者の声

☺ 胸にしこりができたため、検査のために受診しました。「重大な病気なのでは……」と不安な気持ちで訪れたのですが、受付の方や看護師さん、検査技師の方がとても親切に接してくださり、安心して検査を受けることができました。(40代/女性) ☺ 友人の紹介で乳がん検診を受けました。検査は1時間ほどで終わり、スタッフの皆さんがテキパキとされていたので好印象でした。また来年も、こちらのクリニックでお世話になりたいと思います。(50代/女性)